

## 「ストップ！DV・性暴力」パネル内容

[illegible][illegible][illegible]

**性暴力にまつわる誤解**

①

- ×被害者は見知らぬ人
- 被害者の多くが顔見知りで、家庭内での被害も多い  
(犯罪被害者の実態)  
セクハラ(37.6%)、ハラスメント(30.9%)  
近所・同僚・知人・友人・家族からの被害(21.8%)

※日本では、身近な人間関係から発生する被害が多いことが特徴です。

②

- ×被害者に落ち度がある
- 被害者の服装や行動は関係ない  
(被害者への責任を問うことはいけません。)  
被害者自身も十分な注意を払って生活しています。

セクハラについて「被害者側」の意識を問うことはよくありません。  
「加害者側」の意識を問うべきです。

③

- ×悪化しなかったからじゃないの?
- 不意打ち、早退、恐怖心などで抵抗できなかった  
(被害者には「逃げた」という罪はない。逃げ遅れたら怒られるという恐怖感がある。)

※日本では、被害者が逃げ遅れれば「逃げ遅れた」として責められるという風潮があります。

※日本では、被害者が逃げ遅れれば「逃げ遅れた」として責められるという風潮があります。

※日本では、被害者が逃げ遅れれば「逃げ遅れた」として責められるという風潮があります。

[illegible]